

## 上院歳出委員会で承認された「2018年度エネルギー・水資源開発予算法案」

2017年7月24日  
NEDO ワシントン事務所

上院歳出委員会が7月20日、『2018年度エネルギー・水資源開発歳出予算法案（Energy and Water Development and Related Agencies Appropriations Act, 2018）』を30対1<sup>1</sup>で可決した。

エネルギー省（DOE）及びその他関連省庁への予算を計上する同法案の総額は、大統領予算案を41億ドル、下院歳出委員会が7月12日に可決した同名の歳出予算法案を9億ドル上回る384億ドルとなっている。

同予算案に盛り込まれた2018年度のDOE全体予算案は314億6,363万ドル<sup>2</sup>。このうち、エネルギー関連プログラム予算は111億100万ドルで、2017年度予算に比べて1億8,270万ドルの減額となるものの、トランプ大統領要求額及び下院歳出委員会案と比較すると、それぞれ35億9,010万ドル及び14億9,199万ドル増額となっている。DOEエネルギー関連予算の主要プログラムの予算は以下の通り。

### エネルギー関連予算の内訳

(単位：百万ドル)

|                        | FY2017<br>予算 | FY2018<br>要求 | FY2018<br>下院歳出<br>委員会 | FY2018<br>上院歳出<br>委員会 | FY2018 要求<br>比<br>FY2018 上院 | FY2018 下院<br>比<br>FY2018 上院 |
|------------------------|--------------|--------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| エネルギー効率化・再生可能エネルギー     | <b>2,090</b> | <b>636</b>   | <b>1,104</b>          | <b>1,937</b>          | <b>1,301 増</b>              | <b>833 増</b>                |
| 再生可能エネルギー <sup>3</sup> | 451          | 134          | 190                   | 390                   | 256 増                       | 200 増                       |
| 持続可能な運輸技術 <sup>4</sup> | 613          | 184          | 268                   | 553                   | 369 増                       | 285 増                       |
| エネルギー効率化 <sup>5</sup>  | 762          | 160          | 481                   | 737                   | 577 増                       | 256 増                       |
| 組織支援 <sup>6</sup>      | 265          | 218          | 224                   | 285                   | 67 増                        | 61 増                        |
| 配電・エネルギー信頼性            | <b>230</b>   | <b>120</b>   | <b>219</b>            | <b>213</b>            | <b>93 増</b>                 | <b>6 減</b>                  |
| 原子力科学技術                | <b>1,017</b> | <b>703</b>   | <b>969</b>            | <b>917</b>            | <b>214 増</b>                | <b>52 減</b>                 |
| 化石エネルギーR&D             | <b>668</b>   | <b>280</b>   | <b>635</b>            | <b>573</b>            | <b>293 増</b>                | <b>62 減</b>                 |
| 石炭                     | 424          | 165          | 441                   | 342                   | 177 増                       | 99 減                        |
| -炭素回収                  | 101          | 16           | 95                    | 94                    | 78 増                        | 1 減                         |
| -炭素貯蔵                  | 95           | 15           | 89                    | 89                    | 74 増                        | ±0                          |
| -先進電力システム              | 105          | 46           | 103                   | 98                    | 52 増                        | 5 減                         |

<sup>1</sup> サウスカロライナ州選出の Lindsey Graham 上院議員（共和党）が、同法案に含まれた混合酸化物（MOX）燃料加工施設（サウスカロライナ州）の閉鎖計画に異議を唱え、唯一の反対票を投じた。

<sup>2</sup> 2017年度予算比7.2億ドル増、大統領要求比35.9億ドル増、下院歳出委員会案比15.8億ドル増。

<sup>3</sup> ソーラー、風力、地熱、及び水力

<sup>4</sup> バイオエネルギー、自動車技術、水素・燃料電池技術

<sup>5</sup> 先進製造技術、ビルディング技術、連邦エネルギー管理計画、耐候化・政府間活動、等

<sup>6</sup> プログラム指針、国立再生可能エネルギー研究所（NREL）の施設・インフラ整備、等

|                   |       |       |       |       |         |       |
|-------------------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|
| -その他 <sup>7</sup> | 123   | 88    | 155   | 62    | 26 減    | 93 減  |
| ウラニウム濃縮汚染除去・破棄基金  | 768   | 753   | 768   | 788   | 35 増    | 20 増  |
| エネルギー情報局          | 122   | 118   | 118   | 122   | 4 増     | 4 増   |
| 防衛以外の環境浄化         | 247   | 218   | 222   | 266   | 48 増    | 44 増  |
| 科学                | 5,392 | 4,473 | 5,392 | 5,550 | 1,077 増 | 158 増 |
| ARPA-E            | 306   | 20    | -     | 330   | 310 増   | 330 増 |
| 核廃棄物処理            | -     | 90    | 90    | -     | 90 減    | 90 減  |
| ローン/ローン保証計画       | 12    | -     | 7     | 6     | 6 増     | 1 減   |

(四捨五入につき、合計は必ずしも一致しない)

## 同歳出法案のハイライト：

- ARPA-E 廃止と 2017 年度 ARPA-E 予算の使用を制限するという大統領提案に反対し、2018 年度の ARPA-E 予算案として 3 億 3,000 万ドルを提案。同予算を ARPA-E 廃止関連に使用することを禁止し、遅延している資金提供公募 (Funding Opportunity Announcement) 認可プロセスを進めるよう DOE に対して指示。
- 大統領予算案及び下院歳出委員会案が提案しているユッカ・マウンテン核廃棄物処理場向け予算を排除。
- **エネルギー効率化・再生可能エネルギー (EERE)**
  - 再生可能エネルギー
    - ソーラー発電予算案は 1 億 6,750 万ドル (2017 年度比 19.3%減、大統領要求比 140.3%増、下院歳出委員会案比 86.1%増)
    - 風力発電予算案は 7,250 万ドル (2017 年度比 19.4%減、大統領要求比 128.7%増、下院歳出委員会案比 128.3%増)
  - 持続可能な運輸技術
    - 自動車技術予算案は 2 億 7,799 万ドル (2017 年度比 9.4%減、大統領要求比 239%増、下院歳出委員会案比 122.4%増)
    - バイオエネルギー技術予算案は 1 億 9,000 万ドル (2017 年度比 7.3%減、大統領要求比 235.7%増、下院歳出委員会案比 111.1%増)
    - 水素・燃料電池技術予算案は 8,500 万ドル (2017 年度比 15.8%減、大統領要求比 88.9%増、下院歳出委員会案比 60.4%増)
  - エネルギー効率化
    - 先進製造技術予算案は 2 億 5,200 万ドル (2017 年度比 2.1%減、大統領要求比 207.4%増、下院歳出委員会案比 147.1%増)

<sup>7</sup> 分野横断型サーチ、国立エネルギー技術研究所 (NETL) 石炭研究開発、及び、STEP (超臨界 CO2)。下院歳出委員会が提案した新規プロジェクト「トランスフォーメーションな石炭パイロットプロジェクト」は排除。

- **配電・エネルギー信頼性**

- 送電信頼性予算案は 2017 年度予算及び下院歳出委員会案と同額の 3,600 万ドル（大統領要求比 176.9%増）
- 回復力のある送配電システムの予算案は 3,500 万ドル（2017 年度比 30%減、大統領要求比 250%増、下院歳出委員会案比 5.4%減）
- エネルギー配給システムのためのサイバーセキュリティ（CEDs）予算案は 5,300 万ドル（2017 年度比 14.5%減、大統領要求比 26.2%増、下院歳出委員会案比 18.5%減）
- エネルギー貯蔵予算案は 3,714 万ドル（2017 年度比 19.8%増、大統領要求比 364.3%増、下院歳出委員会案比 19.8%増）

- **化石エネルギーR&D**

- 最小限の水消費でコスト効率的に発電を行うシステムの研究開発を支援するため、固体酸化物燃料電池（SOFC）に 3,000 万ドルを計上（下院歳出委員会案と同額）
- 地域炭素隔離パートナーシップ及び CarbonSAFE 計画の新規プロジェクト公募のために、炭素貯蔵の貯蔵インフラ整備勘定から、4,000 万ドルを計上。